

一般国道368号(上長瀬)道路改良(2号橋上部工)工事 「上長瀬大橋」命名式

令和7年5月17日開催

国道368号のバイパスとなる2号橋に
「上長瀬大橋」の橋名板を取り付けます

イメージ写真



至 津市

3号橋(計画)

2号橋(上長瀬大橋)

旧 昭和橋

368 至 名張市街



伊賀建設事務所

三重県



一般国道368号(上長瀬)道路改良事業の概要

事業の概要

一般国道368号は三重県名張市を南北に走る幹線道路です。上長瀬地内では幅員が約5.0mと狭く、対向車のすれ違いが困難な状況です。

このため、通行車両の安全、安心かつ円滑な交通を図るため、幅員が狭く見通しが悪い区間にバイパスを整備しています。

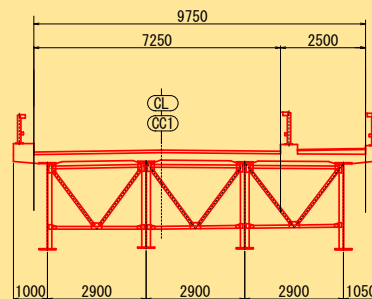
本事業区間は2.0kmで、すでに1.1kmは完成し供用しており、残りの0.9kmのバイパス区間の工事を進めています。

2号橋（上長瀬大橋）の概要

至 名張市街

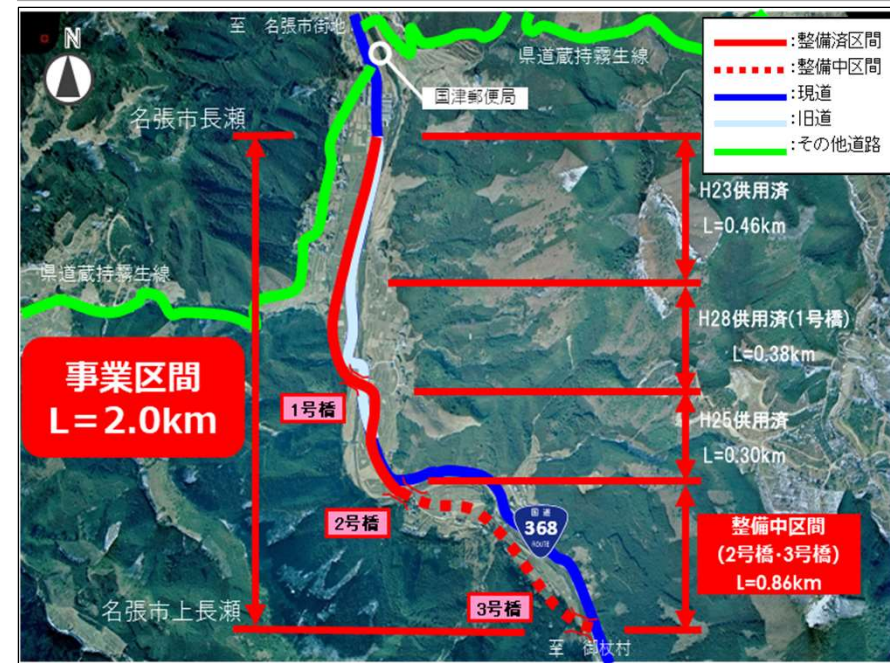
至 津市

橋長：L=49.0 m



幅員：W=9.75m
構造：鋼単純非合成鈹桁橋 1径間

事業箇所図



現道の状況



整備効果

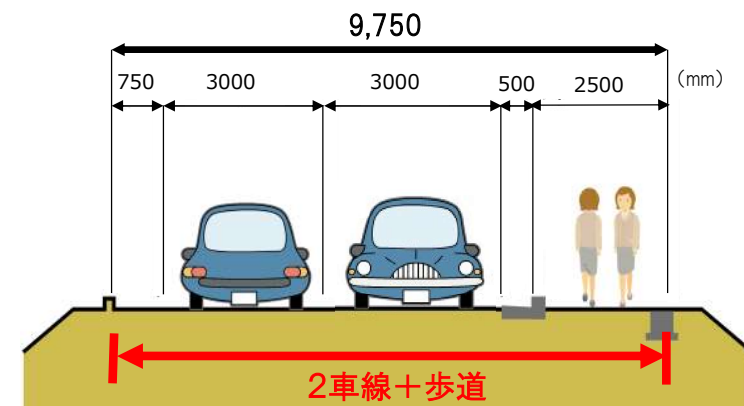
《緊急・災害時の復旧・復興に資する道路整備》

名阪国道及び国道165号の第1次緊急輸送道路と伊賀地域及び中南勢地域の市町役場や防災拠点を連絡する第2次緊急輸送道路の災害等緊急時の交通機能を確保します。

《安全・安心・快適な道路環境を確保する道路整備》

すれ違い困難箇所の解消を図り、安全で円滑な通行を確保することで、地域の生活道路としての機能を確保します。

標準断面図



一般国道368号(上長瀬)道路改良(2号橋上部工)工事 橋名板について

① 橋名板とは

橋名板とは、橋の四隅に取りつける板のことで、三重県では「橋の名前（漢字）」、「橋の名前（ひらがな）」、「交差する河川名」、「完成年月」の4つと定めています。

② 橋名の決定方法

2号橋の名称は、地元（上長瀬区）の皆様にご考案していただいた結果、【上長瀬大橋】に決定しました。

③ 橋名板の作成方法

橋名板の作成にあたり、橋名板の文字を上長瀬区に住む、唯一の小学生（6年生）に書いていただきました。

④ 橋名板の原字

アスコットキャラクター
のとりて



4枚とも書いて
もらいました！

上長瀬大橋

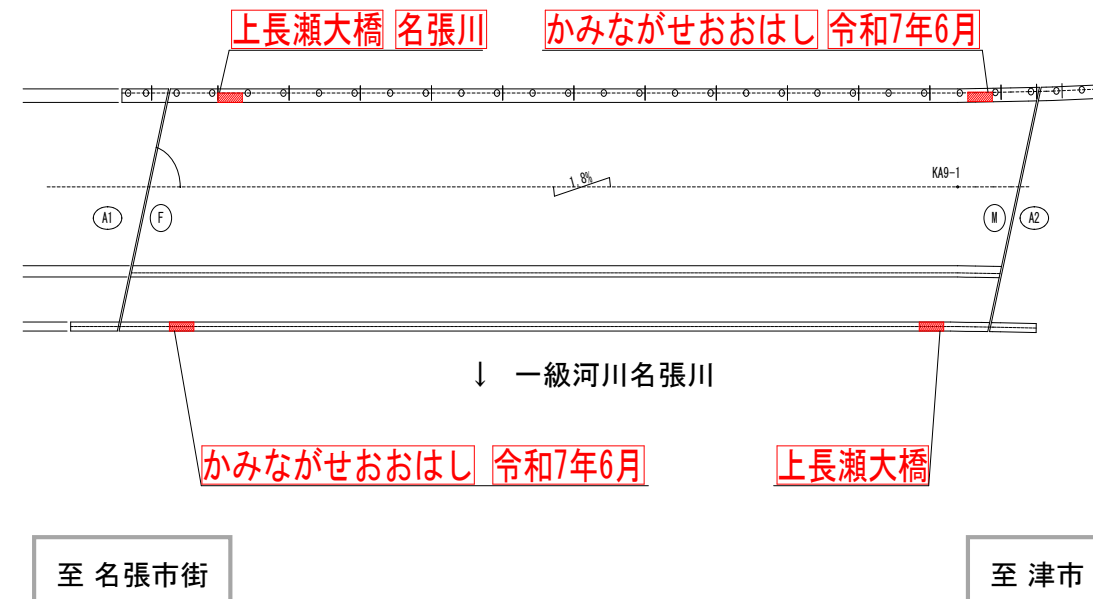
名張川

かみながせおおはし

令和7年6月

橋名板取り付け位置(平面図)

上長瀬大橋
L=49.0 m
W= 9.75 m



「上長瀬大橋」 建設のあゆみ



昭和橋 (つり橋)
L = 33.4 m
W = 1.8 m
<昭和2年完成>

昭和橋 令和3年9月撮影



昭和橋撤去完了 令和4年3月撮影



橋台完成 令和5年7月撮影

上長瀬大橋
L = 49.0 m
W = 9.75m



橋桁架設完了 令和7年2月撮影

【位置図】 一般国道368号(上長瀬)道路改良(2号橋上部工)工事「上長瀬大橋」命名式

令和7年5月17日開催

